

<推奨コース>

Aコース 南総文化ホール駐車場から山本堰 [距離] 約2.3km [所要時間] 徒歩約40分



Bコース バスで国分寺～滝川のびやくしん・三義民刑場跡 [距離] 約4km [所要時間] 徒歩約75分



<おすすめスポット>



11 山本堰(やまもとせき)

山本堰は農業用ため池として、大正 13 年に築造されましたが、堤体の老朽化に伴い、改修が行われ、平成 16 年度に完成しました。周囲は、車いすでも一周できる遊歩道、親水護岸等が整備され、環境保全型のため池となっています。春は、湖面いっぱいの桜、初夏は、あじさいが咲き、冬には、白鳥などの水鳥が飛来するなど、

地域住民をはじめとする、人々の憩いの場として親しまれています。【周囲】約 600m 【貯水量】4 万 5 千トン 【提高】6m



18 三義民刑場跡(さんぎみんけいじょうあと)

国分寺山門入口には、正徳元(1711)年に万石騒動と呼ばれる農民一揆で処刑された名主3名の供養塔があります。元禄 16(1703)年、北条など27か村の領地を支配する屋代藩は、元禄大地震によって大きな被害を受けたので、家老川井藤左衛門らによって、用水路や農地を整備するとともに、逼迫する藩財政を立て直そうと年貢の増収も図りました。そこで農民たちには無償労役をさせ、一方では年貢を倍増するなど大きな負担を強いたので、このため農民たちは江戸の屋代家への門訴や老中への駕籠訴を強行したものの、川井らも湊村角左衛門や国分村長次郎、菌村五左衛門の3名を見せしめに処刑しました。結局、農民側の訴えを幕府は認めて勝訴になりました。3名が処刑された場所には現在、三義民刑場跡の石碑がありますが、今も地元では犠牲者を弔って年忌法要が続けられています。昭和 49(1974)年には館山市の指定史跡となりました。

このため農民たちは江戸の屋代家への門訴や老中への駕籠訴を強行したものの、川井らも湊村角左衛門や国分村長次郎、菌村五左衛門の3名を見せしめに処刑しました。結局、農民側の訴えを幕府は認めて勝訴になりました。3名が処刑された場所には現在、三義民刑場跡の石碑がありますが、今も地元では犠牲者を弔って年忌法要が続けられています。昭和 49(1974)年には館山市の指定史跡となりました。



16 国分寺(こくぶんじ)

聖武天皇の天平 13 年(741)国ごとに国分寺をおく詔がなされましたが、安房は天平宝字元年(757)に上総から分立した国のため、安房国分寺の創建はそれ以降の奈良時代末のことと考えられます。発掘調査の結果金堂基壇が確認され、平瓦・軒丸瓦などのほか、三彩獣脚が出土しています。この北方約 900m のところには、「アマンボウ」という地名が残り、「尼坊」とも考えられることから国分尼寺の推定地のひとつになっています。現在の国分寺は真言宗の寺院で、山門をめけると参道の傍らに当時用いられた円形の礎石が置かれ、本道横には南北朝時代の五輪塔があるほか、山門入口には「孝子伴直家主の碑」や「安房三義民の墓」があります。

この北方約 900m のところには、「アマンボウ」という地名が残り、「尼坊」とも考えられることから国分尼寺の推定地のひとつになっています。現在の国分寺は真言宗の寺院で、山門をめけると参道の傍らに当時用いられた円形の礎石が置かれ、本道横には南北朝時代の五輪塔があるほか、山門入口には「孝子伴直家主の碑」や「安房三義民の墓」があります。



20 滝川のびやくしん(たきがわのびやくしん)

びやくしんはヒノキ科の植物で、宮城県以南の本州、四国、九州の海岸地帯に自生しています。「滝川のびやくしん」は、木幡(こばた)神社北方の河岸段丘上にあります。そこは神社創建の地とされ、またビヤクシンには神木としての伝承があり、地域の人々に愛護されています。木幡神社の縁起によれば、大化改新以前、中央政権によって地方官として任命された大伴(おおとも)氏が、安房に着任したとき、平野の中央に館をたて、ここを館野原とよび支配の中心としたといわれています。そして着任地に氏神をまつり、これが神社のはじまりだとされています。このびやくしんの樹齢は 800 年前後、幹周 4m、樹高 11m、枝張り東西 11m・南北 12m で、かたちのよい樹容をみせています。館山市指定天然記念物(昭和 52 年 10 月 20 日指定)

木幡神社の縁起によれば、大化改新以前、中央政権によって地方官として任命された大伴(おおとも)氏が、安房に着任したとき、平野の中央に館をたて、ここを館野原とよび支配の中心としたといわれています。そして着任地に氏神をまつり、これが神社のはじまりだとされています。このびやくしんの樹齢は 800 年前後、幹周 4m、樹高 11m、枝張り東西 11m・南北 12m で、かたちのよい樹容をみせています。館山市指定天然記念物(昭和 52 年 10 月 20 日指定)